

令和元年度国際物流拠点活用推進事業の成果概要

事業実施主体	株式会社農
プロジェクト名	国産食材を活かしたハラルフードチェーンの構築と海外展開
事業内容	千葉県を中心にした直営農場や提携農家が生産する農畜産物を材料にして、県内にハラル認証を得た食品工場を構築する。また、製造したハラルフードは、インバウンド集客に積極的な国内事業者提供のほか、東南アジアを中心にしたムスリム地域へ輸出する。
今後の計画	主に海外の需要者向けの商品を生産して出荷することを計画している。 海外向け シンガポール、マレーシア、ブルネイ：完成商品15t／2ヶ月 バングラデッシュ：半製品15t／月 国内向け 首都圏：半製品5t／月
最終目標と現状	最終目標) 令和6年度までに、東南アジア、南アジアの各国に食料品の輸出量728 t（売上金額360百万円） 現状) シンガポール、マレーシア、ブルネイ、バングラデッシュの各国で事業を展開する現地法人と出荷する商品について調整中。 また、半製品の状態で出荷し、現地で最終加工する食材を開発中である。
補助事業の効果	当社が企画・開発・製造する国産食材を材料にしたハラルフードを、需要地に近い沖縄県内で生産するために、補助事業にてハラル専用の食品工場を整備した。また、使用する食材の一部を沖縄県内で調達するために、県内の生産農家と提携し、ハラル向けの作付け指導とマニュアルを整備することができた。これにより、沖縄県内で食料品の加工を行うだけでなく、将来的には、県内で多くの原材料の調達する体制の確立に目途が立った。 補助事業で開発した商品である冷凍ミールは、新型コロナウイルス感染症の影響によって、海外向けは出荷ができていない。一方で、国内在住のムスリムの方々に、長期保存ができる商品としてニーズは高く、県内で調達する食材で製造した商品を、首都圏に出荷する準備中である。

写真：冷凍ミール

